

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			4 枠時にスペースが狭い箇所があるため、今は児童の活動内容に合わせて対応をしている。今後各スペースの配分や教室の環境整備を行うなどの対応を考えていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			支援後の振り返り時に、担当職員以外の職員が関わり、職員全員で全利用者様に関わる機会を持っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入口をフラットにして躓いたりしないようにしているが、靴の脱ぎ履きの際にお子様バランスを崩さないように、もう少し手すりがあるとよいかもしれない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか			○	週 1 回のミーティング時に話し合いの場は持っているが、改善を進めるところまでは出来ていないため、話し合いの課題を明確にするなどの対策を考える。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	アンケートの集約で終わっており、ニーズ把握までは出来ていない。ミーティングを持つなどして改善をしていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			支援の関係や感染症対策なども考え、分散して研修がうけられるようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			空き時間を使って行っているが十分が時間の確保はできていない。計画的に行えるように手立てを考えていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			2 人体制の担当は個別に相談したりしている。イベント時は全職員で立案している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団療育のイベントに必要に応じて声掛けを行っている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			次の日やミーティング時に行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			2 人体制の担当者同士で、支援の振り返りを行い次回の療育内容に反映をしている。また、支援のない時間帯に伝達等も行っている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			○	定期的に行えるように視覚化を行っていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管だけでなく、可能な限り担当指導員も参加し、児童の現状を話してもらっている。また相談支援事業所へ適宜連絡をするなどして連携を図っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			○	保護者様より行事の確認を行うことが多い。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療ケアの対象児はいないが、持病などを持っている児童への対応について緊急カードを作成している。主治医との連携は取れていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者様を通じて確認を行うことが多い
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ行ったことはないが、伝達ができるように準備をしていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	機会があれば、利用者様へも通知を行い周知していきたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			開催された際には参加をしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			フィードバック時などを使って個々に行えている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	集団イベントなどのフィードバック時のは行っているが、保護者様のニーズをお聞きしてお話することはないので、機会を作れるように手立てを考える。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	不定期開催 参加者が固定しているのが課題

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報はないが、チラシやラインで連絡を流している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			児童や保護者様から見えないように個人情報のある場所から離れる際には、パソコンを閉じるなど配慮している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		ブログでの発信が不十分なところがあり、地域住民の参加までには至っていないが、テナントの管理者への共有は行っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				対象児はいないが、個別支援計画等に掲載をしている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書などではないが、保護者様より確認し、職員の食事する場所を制限している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校

保護者等数（児童数）：68 回収数：48 割合：70%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	20	2	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かすには少し狭い気がする。 ・机上課題は十分なスペースだが、動きのある遊びをするときは狭い。 ・静と動の活動をメリハリをつけいつも計画をしてくださり、スペースも個に合わせて配慮いただけている。 ⇒限られた空間の中で、お子様の安全に配慮しながら支援内容検討していく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	34	14		<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に対応してくれている。 ・担当変更して間もないのでわからない。 ・発達障がい知識有の先生が居てくれると助かる。 ⇒1回/月会社の研修で学んだことを保護者様やお子様へ還元していく。また、お子様や保護者様との関係づくりも踏まえて支援を行っていく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	21	9	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	36	12		<ul style="list-style-type: none"> ・私がしっかりと理解できていない。 ・いつも話を聞き寄り添ってくれている。 ⇒ 支援後の振り返りだけでなく、保護者様の声をお聞きする時間を確保するなど体制を整えていく。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	29	19		<ul style="list-style-type: none"> ・私がしっかりと理解できていない。 ・困りごとにすぐに対応して、活動に取り入れてくれている。 ⇒保護者様の声をお聞きする時間を確保するなど体制を整えていく。引き続き、迅速に対応できるようにしていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	19	25	<ul style="list-style-type: none"> ・求めている ⇒機会があればご案内等をしていく
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36	11	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧な対応に安心している。 ⇒ 引き続き丁寧な説明を行っていく。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	35	13		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の思いや課題に寄り添ってくれているので、心のよりどころになっている。 ⇒お子様のご成長などを保護者様と一緒に共有していく。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもホッとしている。はっと気づくときもあり勉強になる。 ⇒お子様のご成長などを保護者様と一緒に共有していく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	17	15	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したことがなく、機会を逃している。 ・必要性を感じていない。 ・コロナ禍では難しいが、コロナ前に行ったときは楽しかった。 ⇒コロナ感染症の終息を待ち、開催できるように検討していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	26	2	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない ・必要性を感じていない ・苦情に思ったことがないのでわからない。 ⇒適宜対応できるようにしていく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	15		・

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	15	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	35	13		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28	18	2	・全ての説明を聞いたかもしれないが忘れてしまったので改めて聞きたい。 ⇒周知できるような手立てを検討していく。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	29	5	・行っているかもしれないがわからない。 ・災害について話を聞くが、参加できていないのでわからない。 ⇒周知できるような手立てを検討していく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	33	15		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	25	23		・中学に進学すると勉強の内容も変わるのでどうやっていくか心配などところがある。 ⇒保護者様の声をお聞きする時間を確保するなど体制を整え、一緒に考えていけるようにしていく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。